

愛知県言語聴覚士会 構音・嚥下・小児部会専門勉強会のお知らせ



愛知県言語聴覚士会学術研修部では下記のように構音・嚥下部会と小児部会の勉強会を開催いたします。講演では経験豊富な先生方からお話をいただけることとなりました。日頃、なかなか聞けない内容かと思えます。皆様ふるってご参加下さい。

<日 時>

2008年11月30日(日)

12:30～ 受付

13:00～14:30 構音・嚥下専門勉強会

14:30～ 受付(小児のみ参加の方)

14:45～16:15 小児専門勉強会

<参加費>

勉強会: 会員 各500円 / 非会員 各1000円

*両勉強会参加の場合は会員1000円、非会員2000円

<場 所>

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校2階講堂
名古屋市中村区名駅南2-7-2(名古屋駅から徒歩13分)

※東海医療福祉専門学校より移転しましたので、お気をつけください。



<申込方法>

WEB会員は県士会HPより参加申込書をダウンロードし、郵送会員は同封された申し込み用紙に必要事項をご記入いただき下記連絡先までお申し込みください。ダウンロードが出来ない場合は、参加希望勉強会(構音嚥下 or 小児もしくは両方)・名前・所属・経験年数・会員/非会員・連絡先をご記入の上、下記までお申し込みください。
申込締切は平成20年11月27日(木)とします。定員は90名です。お早めにお申し込みください。定員に達し締め切らせていただいた場合は、お申し込みの方にこちらから連絡させていただきます。その場合はご容赦下さい。

FAX 申込先: 0561-62-6632 メール申込先: murase@nbunka.ac.jp

名古屋文化学園医療福祉専門学校 村瀬 幸恵宛

<内容>

①構音・嚥下部会 (13:00～14:30) 「呼吸リハビリテーション—理学療法における考え方—(仮)」
愛知医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 飯田博己先生
チーム医療において、他職種がそれぞれの役割に応じたアプローチを展開することは重要なことです。今回は、呼吸障害に対する臨床的な病態の捉え方や実際のアプローチについて理学療法士の視点から説明します。

②小児部会 (14:45～16:15) 「幼児の吃音臨床の基礎(仮)」
日本聴能言語福祉学院 聴能言語学科 言語聴覚士 土屋美智子先生
「吃音は分からない」と思っていますか?実は日本のトップクラスの吃音臨床家達も同じことを感じています。ではなぜ積極的に臨床に取り組めるのでしょうか?私は、「吃音について『分かっていること』と『まだ分からないこと』、『意見が分かれていること』を知っているから」と考えます。今、吃音臨床への取り組みを躊躇しているSTも、その部分をもう少し整理整頓するだけで苦手意識が少なくなり「やってみようかな?」と思えるかもしれません。今回は特に、有症率が約5%とも言われている幼児の吃音臨床について、最近の知見も少しふまえながら、「これだけはやっちゃだめ!」など基礎的な部分を中心にお話できればと思います。